



Leap~based on Standard~

後期生徒総会

12月4日(木)、後期の生徒総会が行われました。インフルエンザ拡大による学級閉鎖もあり、新しい学級組織の決定が遅れたため、活動方針や計画の策定、議案書の審議なども遅れ、生徒たちは苦労していましたが、無事に開催することができました。

今回の生徒総会では、前期活動の総括とともに、第23期生徒会のスローガンと活動方針が提案されました。

提案された新スローガンは「Leap~based on Standard~ (リープ ベイスド オン スタンダード)」。

議案書によれば、しっかりした生活の基礎・基本にもとづいて (based on Standard)、飛躍 (Leap) したい、という願いが込められているそうです。

では、大事にしたい基礎・基本とは何か。生徒たちはそれを、以前こちらの通信でも紹介した「時を守り、場を清め、礼を正す」に求めました。

「時の柱」、「場の柱」、「礼の柱」の3つを基本に、さまざまな生活向上取り組みの提案がなされ、活発な意見交流が行われました。スローガン、取り組みとも全会一致で承認され、1・2年生が中心となる第23期生徒会の活動がいよいよ本格的なものとなります。今後も生徒たちが自分たちの生活向上のために主体的に取り組んでいくことを期待しています。



受験期の食事を考える~3年生ふれあい給食~

12月3日(水)「ふれあい給食事業」の一環として、千厩学校給食センター栄養教諭の伊藤瑠梨先生を講師にお招きして、3年生を対象に「受験期の食事」をテーマとした食育の授業を行いました。

授業では、この時期が受験期であると同時に成長期であることと、部活動を引退して運動量が落ちていることとをふまえ、栄養バランスや適正量を考えることが重要であることを学びました。

また、以下のような学習の効果を上げるために有効な栄養素と、それを多く含む食品についても学びました。



①記憶力を高める栄養素

- ・ドコサヘキサエン酸(DHA)・・・さんま、さば、あじ、まぐろ、かつお、いわし
- ・レシチン・・・たまご、大豆、大豆製品(豆腐など)、米

②不安を軽くし、気持ちを落ち着かせる栄養素

- ・カルシウム・・・牛乳、乳製品、生揚げ、小魚、小松菜

③かぜを予防し、体調を整える栄養素

- ・ビタミン・・・野菜、果物、じゃがいも、さつまいも

④疲労の回復を助ける栄養素

- ・ビタミンB1・・・豚肉、大豆製品、ごま、アーモンド

生徒の感想より

- ・私は朝起きるのが苦手で、食べる時間が7時を過ぎてしまうことが多いので、朝は早く起きてバランスよく食べて学校に行きたいです。
- ・今まで朝ごはんはパンだけだったけど、家には米とりんごがたくさんあるから、たまごと米とりんごを朝に食べたいと思いました。
- ・今日の学習でカルシウムは気持ちを落ち着かせる効果があると知り、自分は短気で気持ちが高ぶりやすいから、もっとカルシウムをとろうと思いました。

より良い学校・地域づくりのために

12月8日（月）、第2回の学校運営支援協議会が開催されました。

～第2回学校運営支援協議会～

今回は委員の皆様、第1回の学校評価アンケート等の結果に基づく学校運営の中間報告についてご意見を頂くとともに、初めての試みとして生徒会役員生徒を交えた「熟議」に取り組んで頂きました。

学校運営支援協議会における熟議とは、「よりよい集団（学校・地域）生活や人間関係を築くために、「協働して取り組む一連の自主的、実践的な活動」を「話し合い」を重ねながら生み出そうというものです。

今回の熟議ではテーマを「より良い学校・地域づくりについて」と設定し、

①藤沢中・藤沢町のよいところ、②良い学校・地域づくりを妨げているもの、③より良い学校・地域づくりのために自分に何ができるか、の3つのステップで話し合いを進めていきました。

委員の皆さんと生徒たちを4つのグループに分け、ステップが上がるごとにメンバーを少しずつ交代しながらの話し合いでしたが、世代や立場を超えて活発な議論となりました。その中では「少子化」や「地域の活性化」など、生徒だけの力では解決できない問題も上がりましたが、それらを生徒たちが自分たちの問題として意識し、できることから始めようと行動のきっかけとなる良い機会となりました。



バースディ・チェーンでグループ決め



自分にできること（生徒より上がった意見、委員より上がった意見の一部）

- ・地域の良さを知る ・藤沢の魅力を伝え、藤中を誇りにする ・学習の中で地域を関連づけて学ぶ
- ・地域の行事やボランティアに参加する ・地域内の中学生と積極的に関わる
- ・小さな声かけ、あいさつ ・何事も面倒と思わずやりきって子どもに背中を見せる
- ・登下校の注意を呼び掛ける ・柔道を通して人間教育 ・多くの人に助け、協力を求める
- ・高齢化に対応して、地域リーダーの育成 ・地域のイベントやボランティアの募集を積極的に中学生に伝える
- ・交流の場をつくる ・多くの人が利用する場の環境整備 ・自治会などの行事を中学生が参加できる内容にする

「無意識な思い込み」～人権週間によせて・全校朝会講話～

12月9日（火）、人権週間にちなみ、全校朝会で「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス、略してアンコン）」の話をしました。人間は過去の経験や周囲の意見、日々接する情報の中からつくられる思い込みを持っています。これは誰しもが持っており、完全になくすことはできません。しかしこれが時に決めつけの助長につながる可能性があります。他人に対する決めつけは存在意義の否定につながるかも知れません。また自分に対する決めつけは可能性を狭めることにつながるかも知れません。

自他に悪影響を及ぼす「決めつけ」を防ぐために、このような思い込みがあることを自覚し、対話を心掛けることが大事です。全校朝会では限られた時間の中でしたので、十分に伝わらなかったところもあるかも知れません。ぜひ下記の資料などもご覧いただき、ご家庭でも話題にして頂けたらと思います。

け…血液型で人を判断しているの？ し…消防士、男と決めつけやめようね
す…好きな色、何が好きでもいいんじゃない？ で…できること、みんな同じとかぎらない
ち…「ちょっと手伝ってくれる？」言ってくれた。ことわられるかもってアンコンだった。
ね…ネット記事、この情報はウソかまことか ほ…星はね、黄色でぬっているけど黄色だけじゃないんだよ
み…見た目で判断してカタコトの英語で話しかけたら「日本語で大丈夫ですよ」と返された
や…優しい人には何をしてもいいと思ってない？ わ…私ムリって思ったらできることが減っちゃうよ
を…「を」と「お」のね、おぼえる時間みんな違うよ ん…ん～…これって私のアンコン？

アンコンシャスバイアス研究所が小中学生から募集した「アンコンかるた」より